

取扱説明書	[WAVE ファイル再生ユニット]		  
	デジタルアナウンスマシン WRX-6F5		
	会社所在地及び一部内容を修正	B	UM_WRX6F5_B150514
		A	UM_WRX6F5_A091221

このたびは、WRX シリーズをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
本機の優れた機能をご理解頂き、末永くご愛用頂くためにも、この取扱説明書をよくお読み下さい。



操作上に関するご注意

■電源 ON 時の起動時間 3 秒間

本製品は電源 ON 時、CF カードの認識並びにデータ読み込み等のため約 3 秒間の起動時間を必要とします。
(注) CF カードをセットする際は、必ず電源を OFF にして下さい。

■サポートソフト VoiceNavi Editor 1000CH 版

機種・モードは 1000CH モードに設定してカードデータを作成して下さい。

■カードデータの互換性

本製品(1000CH 版)は、他の WRX-6/8/6000/7000 シリーズや WAV シリーズのカードデータと互換性はありません。
(注) 音声・音源データ(WAVE ファイル)は他製品でもご利用できます



安全に関するご注意

■使用上の注意

- 接続、CF カードの挿入・交換、各種設定・変更の際は、必ず、電源を切ってから行って下さい。
- 水、湿気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しないで下さい。火災、故障、感電の原因になります。
- 振動、衝撃のある箇所には設置しないでください。または耐振動・耐衝撃構造にしてください。
- 定格範囲外で使用されますと、故障が起き、十分な機能が発揮できないことがあります。
- スピーカーに近接して拡音を聞かないで下さい。耳に障害を起す危険があります。

■使用用途上の注意

- 人体・財産などに直接影響を及ぼすシステムに使用する場合、二重化などフェールセーフを行って下さい。

■定期点検のお願い

- 使用頻度の少ない用途などの場合、必ず定期点検を行って下さい。

■保証書に関するお願い

- 保証書はご購入した販売代理店、購入年月日を記載の上、大切に保存して下さい。

■保証について

- 弊社保証規定により、製品の修理(交換含む)などのサービスを行ないます。
- 本製品の動作不良などの故障等から誘引される損害などは保証外になります。
- 接続、設置、使用が正常でない場合など内容により有償による修理・交換になります。

目次

1	概要	3
2	特長	3
3	主な用途	3
4	付属品・添付品	3
5	オプション	3
6	設置環境・設置方法	4
7	各部の名称と機能・外形寸法図	6
8	フロントパネルLED表示灯	7
9	各種設定—モードスイッチ（再生モード・タイマー）	8
10	登録時間と再生時間	8
11	適用メモ리카ード	9
12	CF カードのセット方法	10
13	接続・配線	10
14	AC/DC 電源との接続	11
15	スピーカーや拡声アンプとの接続	12
	■スピーカーとの接続 [ローインピーダンス接続]	
	■拡声アンプ機器との接続 [ローインピーダンス接続]	
	■スピーカーを複数接続・スピーカーとの距離が遠い場合 [ハイインピーダンス接続]	
	■拡声アンプ無線・無線インカム 複数接続の場合	
	■拡声アンプとの距離が遠い場合 [ハイインピーダンス接続]	
16	有線放送・BGM 機器との接続（ラインスルー・カット機能）	14
17	制御・監視用接点端子の接続	15
	【LAN-シリアル変換器を使用する場合】	
18	制御—BUSY 出力（再生中出力）	16
19	制御—ALM 出力・ALM LED（GPU 異常と自己復旧機能について）	16
20	制御—入出力信号・タイミングチャート	17
21	制御 — シリアル制御（1000CH・ライン出力先の設定）	17
22	サポートソフト—カードデータを作成する場合	22
23	サポートソフト—No.-アドレス対応表	25
24	サポートソフト—カードデータを変更したい場合	25
25	定期点検・調整	26
	■標準仕様	27
	■外形寸法図	28
18	■内部回路・等価回路	29
19	■接続参考図 シリアル制御	30
	【LAN-シリアル変換器を使用する場合】	
	■エラー対策シート（トラブルシューティング）	31

1. 概要

WRX-6F5 は記憶媒体に CF カード、音源に 44.1KHz/22.05KHz 16Bit/8Bit 高音質サンプリングの WAVE ファイル、600Ω不平衡ライン出力-4 系統切替、有線放送・BGM スルー・カット機能付ライン入力、5W スピーカーアンプ搭載、1000CH シリアル制御、FA 仕様(フォトカプラ入出力)タイプのデジタルアナウンスマシンです。

WAVE ファイル・CF カード採用と無償配布のサポートソフト VoiceNavi Editor によりクライアント自身で音声・音源データの登録・変更ができます。

2. 特長

- RoHS 指令対応品
- サポートソフトによる音声・音源データを登録・変更
- 音源に WAVE ファイル採用
- 高音質サンプリング 44.1/22.05KHz 16/8Bit Mono
- 記憶媒体に CF カード採用 128/256/512MB ・1GB
- 自己復旧機能(ウォッチドックタイマリセット)
- 据置・ネジ止め・L 金具・19 インチラック対応
- サポートソフト VoiceNavi Editor [無償配布]
- スタジオ録音・WAVE ファイル作成サービス
- EIA1U ハーフサイズ 210×44×180mm
- AC100V 電源/DC24(12)V-2 電源対応
- 付属品 AC アダプタ/CF カード(工業用) 1GB
- 1000CH-シリアル制御
- FA 仕様(フォトカプラ入出力)
- 監視用出力端子 BUSY/ALM
- ライン出力 600Ω/0dBm 不平衡(RCA ジャック)
- ライン出力-4 系統切替(コマンド制御)
- ライン入力 有線放送・BGM スルー・カット機能
- スピーカー出力 5Wmax. 8Ω
- 44.1/22.05KHz 16/8Bit Mono
- CF カード 128/256/512MB ・1GB
- 登録時間 22/44/88/176 分

3. 主な用途

- 自動放送システムの音源
1000CH-シリアル制御
- 音声・音響警報システムの音源
1000CH-シリアル制御
- 複数のライン出力を要求する用途
(例) 通常の拡声アンプ用 無線インカム用他
- WRX6500 上位互換機
- 他社製品の後継機・リプレース機

4. 付属品・添付品

名称	数量	備考欄
CF カード工業用 1GB	1 枚	サンプルデータ(テスト試験用)を収録しています。 音源ライブラリ・サポートソフト VoiceNavi Editor
取扱説明書	1 部	
保証書	1 部	

CF カードと収録データ	1.CF カード内のデータを PC のハードディスクにバックアップコピーして下さい。 2.サンプルデータで「音出し」試験を行い、動作確認をして下さい。 3.動作確認後、CF カード内のデータを消去後、作成したカードデータをコピーして下さい。
--------------	--

5. オプション

名称	内容
CF カード(工業用)	1GB
EIA 補助金具 WRX-EIA1U-B210S	EIA ラック 1 台収納用(サイドアングル付)
EIA 補助金具 WAV-E/2S	EIA ラック 2 台収納用(サイドアングル付)
L 金具 WRX-LKANAGU-B01	固定用
サポートソフト VoiceNavi Editor	付属品 CF カード内収録 または無償 WEB 配布
<テキスト入力>音声データ作成ソフト	CD 版 VoiceNavi Editor Announcer 2J CD-ROM 版

6. 設置環境・設置方法

スタンドアロン(据置)の場合はそのまま設置できます。

EIA ラックに収納する場合、盤などに固定する場合は補助金具等を利用して収納または固定して下さい。

■設置環境

使用環境	使用時: -5°C~55°C 35%~80%RH 保存時: -10°C~70°C(但し結露なき事) 水、湿気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しないで下さい (注) 付属品 CF カード(工業用)の動作保証温度 -40~85°C程度 (参考) 一般用 0~40°C
耐振動	耐振動仕様にはなっていません。 振動の多い環境に設置する場合、振動対策を行って下さい。
耐ノイズ	WRX-6F シリーズはフォトコプラ入出力回路を採用、耐ノイズをUPした FA 仕様になっています。 耐ノイズを有しますが、ノイズが多い環境で使用する場合、電源ノイズ対策、シールドを含むノイズ対策を行って下さい。

■設置方法

CF カード 脱着距離 40mm を考慮して設置します。

振動が多い場所では、防振ゴム等の耐震対策を行って下さい。

寸法・重量	210W X 180D X 44H mm (突起部含まず) 約 1.5 Kg (突起部含まず) [CF カード 脱着距離] 37mm 以上 カードサイズ: 42.8W × 36.4Dm × 3.3H mm
-------	---

1	据置	本体底面ゴム足
2	ネジ止め	・側面 M4 ネジ ・底面 M3 ネジ
3	市販 L 金具固定	市販 L 金具などで側面を固定
4	L 金具固定	WRX-LKANAGU-B01 オプションの固定金具
5	EIA ラック収納 1 台	WRX-EIA1U-210BS オプションの固定金具 (サイドアングル付)を使用します。
6	EIA ラック収納 2 台	WAV-E/2SB オプションの固定金具 (サイドアングル付)を使用します。

(注)ネジ (M3/M4)は付属していません。設置する板厚を考慮してネジ長を決めて下さい。

- (注) 1.温度 15-20°Cでの使用した場合、耐用年数 7 年(~10 年)程度。左記温度以外は耐用年数が落ちます。
2.長期使用の用途で使用する場合、必ず工業用の CF カードをご使用下さい。
3.低温・高温化や耐振動・衝撃のある用途で使用する場合、必ず工業用の CF カードをご使用下さい。

● ノイズ対策

モーターなどノイズ発生源の近くに設置しないで下さい。

ノイズが多い場合、本体・配線をシールドするなどの対策を行って下さい。

●大地震時の衝撃・振動によるCFカード飛出し対策

1.筐体構造でカバーを設け、CF カードが飛出さないなどの対策します。

2.市販の L 金具を筐体の設置するなどの対策をします。

[CF カードと飛出し防止用カバー・板までの距離] 0.2~1mm (注)4.5mm以上で CF カード使用不可

●振動の多い場所での設置

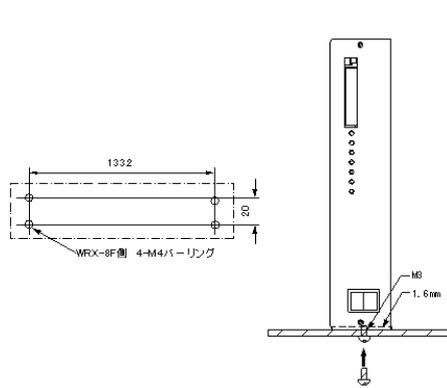
振動が多い場所では、案内板本体に防振ゴム等の耐振動対策を施してください。

また必要に応じて本ユニットにも防振ゴム等の耐震対策を行って下さい。

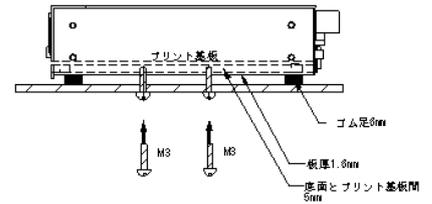
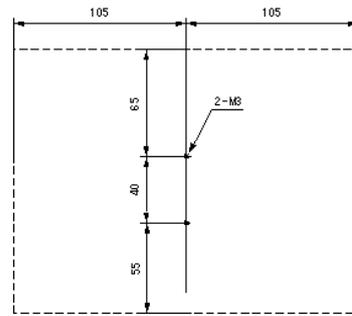
■据え置き

ゴム足(高さ 6mm)が底面に貼付されています。そのまま設置できます。

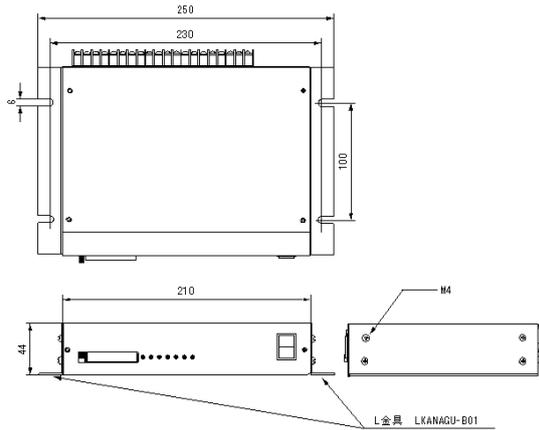
■ネジ止め固定（側面利用）



■ネジ止め固定（底面利用）



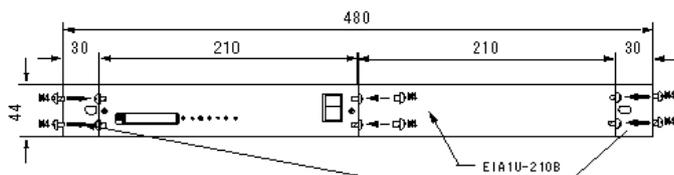
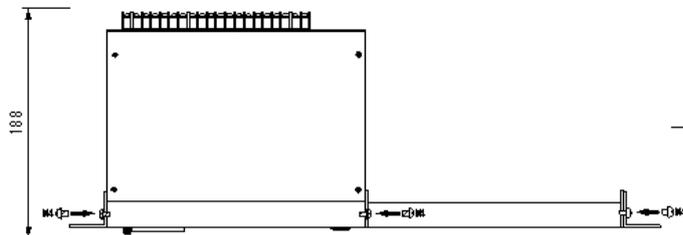
■L 金具による固定（オプション WRX-LKANAGU-B01）



振動の多い場所では、ゴムなど緩衝材を入れ、
振動対策を行って下さい。

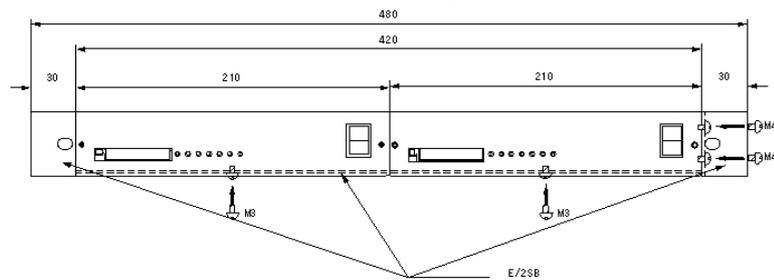
■EIA ラックに収納する場合

●WRX-6F シリーズ 1 台の場合 補助金具 WRX-EIA1U-210BS



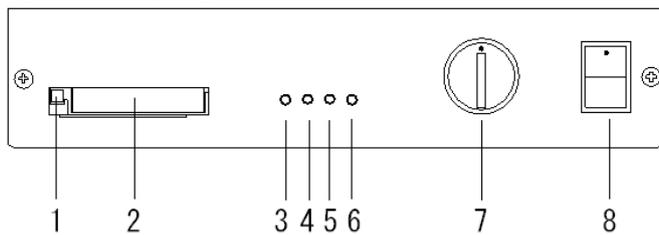
EIA1U-210BS (EIA1U-210B/WAV-BL44) WAV-BL44

●WRX-6F シリーズ 2 台の場合 補助金具 WAV-E/2SB



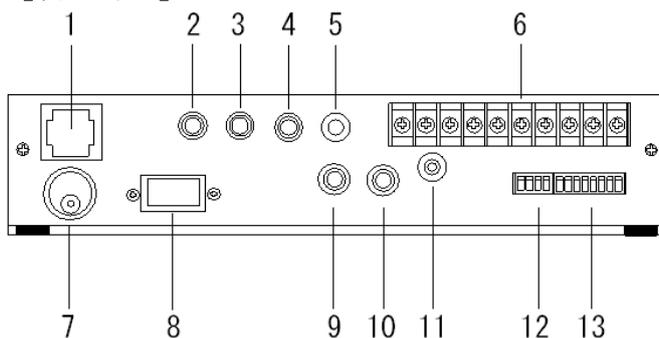
7. 各部の名称と機能・外形寸法図

【フロントパネル】



No	表示	名称	機能
1	EJECT	エジェクト端子	CF カード排出用プッシュ端子
2	Flash Card	カードコネクタ	CF(コンパクトフラッシュ)カード用コネクタ
3	CD	カードイン LED	CF カードがコネクタ IN 時、点灯
4	PLAY	再生中 LED	再生中点灯 並びに各種エラー表示
5	ALM	アラーム LED	ノイズ等で GPU が暴走した場合に点灯、電源再投入で消灯
6	POWER	電源 LED	電源 ON 時、点灯
7	VOLUME	音量ボリューム	スピーカー出力の音量調整
10	POWER	電源スイッチ	DC 電源 ON/OFF

【リアパネル】



No.	表示	名称	
1	DC IN	AC100V 電源コード	AC アダプタ (IN AC100V OUT DC+24V 1A)
2	LINE OUT 2	LINE OUT 2 用 RCA ジャック	ライン出力 2
3	LINE OUT 3	LINE OUT 3 用 PCA ジャック	ライン出力 3
4	LINE OUT 4	LINE OUT 4 用 PCA ジャック	ライン出力 4
5	SP OUT	SP OUT 用ミニプラグ	スピーカー出力 5W 8Ω
6		端子台	
7	FUSE	ヒューズホルダー	
8	RS232C	RS-232C 用コネクタ	RS-232C 用 Dsub コネクタ(9 PIN)
9	EX IN	LINE IN 用 RCA ジャック	ライン入力
10	LINE OUT	LINE OUT 用 RCA ジャック	ライン出力 1
11	SP VR	音量ボリューム	(未使用)
12	MODE2	モード 2 スイッチ	
13	MODE1	モード 1 スイッチ	再生モード設定他

8. フロントパネルLED表示灯



表示	名称	内容
CD	カード LED	CF カードがコネクタに装着されると点灯、排出されると消灯
PLAY	再生中 LED	再生中点灯 & エラー表示(エラー対策シート参照)
ALM	アラーム LED	ボードに CPU 異常が生じた時(制御不能)に点灯、電源再投入で消灯
POWER	電源 LED	電源(DC 電圧)投入にて点灯

【LED動作表】

LED	点 滅	点 灯	消 灯
CD		CF カード IN	CF カード OUT
PLAY		再生中	再生終了
	電源 ON 時点滅 フォーマットが FAT16 でない		
	電源 ON 時点滅 CF カード内に xxx.wpj ファイル が存在しない時		
	電源 ON 時点滅 フォルダ毎コピーしている (WRX-6F1/3 の場合)		
	再生起動時点滅 アクセスした CH に WAVE ファイル が存在しない時		
ALM		CPU 異常が生じた場合 ALM 出力の同時出力 (注) 自動復旧機能で復旧後でも点 灯しています。	電源 OFF でクリア
POWER		電源 ON	電源 OFF

(注)ALM LED 点灯と同時に ALM も出力(電源 OFF まで出力を保持)

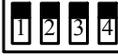
9. 各種設定—モードスイッチ（再生モード・タイマー）

■**モードスイッチ** モードスイッチ1 で設定します。電源 ON 時有効になります。

モードスイッチ 1(SW1)

モードスイッチ 2(SW2)

OFF 
ON 

OFF 
ON 

1-4	5-8
再生モードの設定	未使用

1-4
未使用

1	2	3	4	5	6	7	8	再生モード	
			●					1	RS-232C 制御モード 1(標準)
	●		●					2	RS-232C 制御モード 2(再生終了後、「ACK」送信)

※●: BitSW が ON

シリアル制御の場合、フレーム(組立)再生機能を使用することにより、1 フレーム最大 10 データまでを組立再生できます。また、再生中受信メモリバッファ機能により、最大 20CH まで再生中でも受信できます。WRX-6F5 では、フレーム単位でライン出力先の設定ができます。

10. 登録時間と再生時間

■登録時間

登録できる音声・音源データ(WAVE ファイル)のサンプリングモードとカード容量により異なります。各チャンネルへの登録の際、異なるサンプリングモードでも登録できます。(混在登録)

(参考) (注)44.1/22.05KHz データの混在登録・再生ができます。

カード容量	44.1KHz Mono		22.05KHz Mono	
	16Bit	8Bit	16Bit	8Bit
1GB	179.2 分	358.4 分	358.4 分	716.8 分
1CH 当たり平均	約 10 秒	約 20 秒	約 20 秒	約 40 秒

(注) ・音声データ数が多い場合、22.05KHz 16Bit Mono を推奨します。
・市販テキスト変換ソフト で作成できる音声ファイルは 22.05KHz 16Bit Mono が多いです。

■再生時間

WRX/WAV シリーズのシリアル制御では、フレームによる組立再生、受信バッファメモリの使用が前提になっています。ホスト側からの送信データ内容により、再生時間が異なります。

【ホスト側で制御した場合】

フレーム(組立)を使用した場合	送信データの内容による ●組立再生 1フレーム 10 データ(10CH 分)max.
受信バッファメモリを使用した場合.	送信データの内容による ●受信バッファメモリ 20 フレーム max.

(注) 受信バッファメモリを使用した場合、フレームによる再生に近い形態になる場合があります。

【サポートソフト VoiceNavi Editor でプログラム登録した場合】

サポートソフト VoiceNavi Editor 上でプログラム登録していない場合	アドレス登録した WAVE ファイル時間
サポートソフト VoiceNavi Editor 上でプログラム登録してある場合	組立再生登録・リピート回数登録内容による ●組立再生 1フレーム 8 データ max. ●リピート回数 5 回 max.

(注) フレーム(組立)を使用する場合、サポートソフトによるプログラム登録は音声データ管理上推奨しません。

11. 適用メモ리카ード

本製品には CF カード(工業用) 1枚付属しています。

長期使用、温度条件が悪い場所では工業用(インダストリアル仕様)をご使用下さい。

■付属品 CF カード(工業用)

本カード内にサンプルデータ、サポートソフト、効果音・擬音などの音源ライブラリを収録しています。

収録サンプルデータ	・サンプルカードデータ (試験用)
	・サポートソフト VoiceNavi Editor
	・ブザー・チャイム音など音源ライブラリ

●サンプルデータのバックアップ

開封後、付属品の CF カードで WRX シリーズ本体の動作確認を行いません。

動作確認後、CF カード内のデータをハードディスク等にバックアップコピーして保存して下さい。

●効果音・擬音ライブラリのバックアップと使用上のご注意

開封後、CF カード内のデータをハードディスク等にバックアップコピーして保存して下さい。

本効果音・擬音ライブラリは当社商品で使用する場合、フリー(無償)でご使用できます。

なお音源自体の音量レベル、ピッチ、合成・削除などはフリーウェア・市販の録音編集ソフトで行なうことができます。

- 予備 CF カード データ交換、バックアップ用に複数枚あると重宝します。
 自社購入・使用する場合、自社責任でお願いします。

タイプ	使用用途	型式・メーカー	備考欄
工業用	長期使用用途 温度環境条件が悪い用途	TS***MCF100I (トランセンド社) CF70-iV (IO データ社)または相当品	-40~85°C程度 長期寿命(10年)
一般用	上記以外	TS***MCF100I (トランセンド社) RCF-X**M (バッファロー)または相当品	0~60°C程度

■カードフォーマット(初期化)

WRX シリーズが認識できる CF カードのフォーマットは FAT(別名 FAT16)です。

FAT32 やNTFSフォーマットの CF カードは認識できません。

CF カード状況	使用可否	対処方法
新規購入のカード	○	そのままご使用できます。
FAT32/NTFS フォーマット済みのカード	×	FAT(FAT16)でフォーマット
デジタルカメラで使用したカード	×	FAT(FAT16)でフォーマット

[フォーマットする際のご注意]

Windows2000/XP/Vista で CF カードをフォーマットする場合、必ず FAT16 を指定してフォーマットしてください。

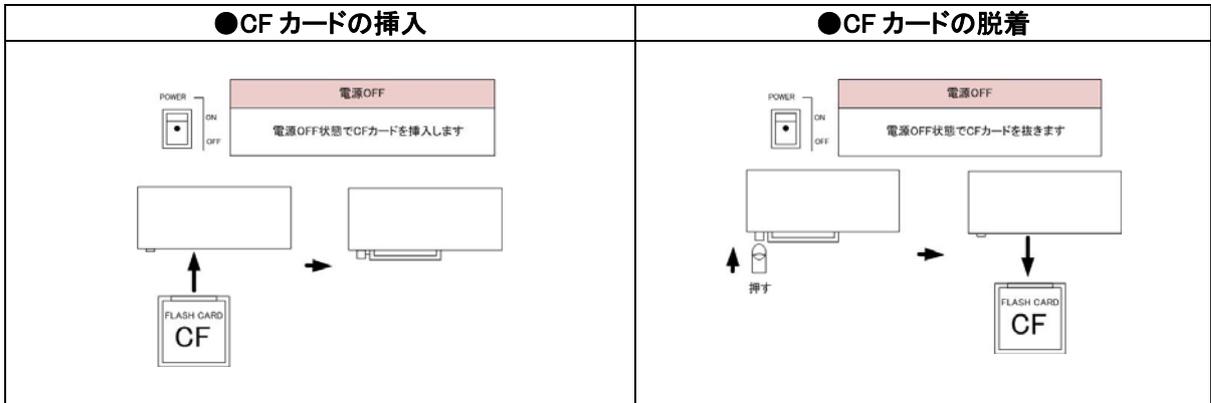
無指定の場合、FAT32 でフォーマットします。WAV-5F シリーズでは認識できません。

12. CF カードのセット方法

電源 OFF の状態で CF カードをユニットのカードコネクタにセットします。

■カードの脱着

必ず、電源 OFF 状態でカードの脱着を行って下さい。
再生／録音中に行なうと、カード内部が破損します。



13. 接続・配線

本書記載の「各部の名称・機能」、設定、接続参考図を参照して接続します。

No.	設定項目	内容
1	音声出カラインの接続	LINE OUT1～4 と外部アンプ・無線インカム送信機の LINE IN を市販の AV ケーブル(PIN プラグ)で接続します。
	(音声入カラインの接続)	有線放送・BGM 機器の LINE OUT と WRX-6F シリーズの LINE IN を LINE OUT と外部アンプ・通信機器の LINE IN を市販の AV ケーブル(PIN プラグ)で接続します。
	(スピーカーとの接続)	必要に応じて、定格 5W スピーカーを接続します。 端子台の SP OUT とスピーカー(8Ω 定格 5W 以上)を接続します。
2	制御ラインの接続 (シリアル制御の場合)	市販の RS232C ケーブル(クロス仕様)で接続します。 必要に応じて ALARM 出力・STOP 入力を接続します。
3	電源の接続	付属品 AC アダプタを使用して AC100V 電源に接続します。 または DC 電源と接続します。
4	再生モードの設定	MODE1 スイッチで再生モードをセットします。
5	CF カードのセット	付属品の CF カード(サンプルデータ入)をセットします。
6	電源 ON	POWER(LED1) CD(LED2)が点灯 電源 ON で再生モード等の設定、CF カード内のカードデータファイルを読み込みます。
7	サンプルデータ入り CF カードによる動作試験	実機再生テスト用ソフト VoiceNavi Tester で全 CH 再生、指定アドレス再生、フレーム再生などのテスト再生ができます。 またはホスト PC・PLC 等再生制御します。 ライン出力・SP 出力、SP 音量ボリューム調整など確認します。
8	本番用カードデータ入り CF カードによる動作試験	実機再生テスト用ソフト VoiceNavi Tester で全 CH 再生、指定アドレス再生、フレーム再生などのテスト再生ができます。 またはホスト PC・PLC 等再生制御します。 ライン出力・SP 出力、SP 音量ボリューム調整など確認します。

[CF カードまたはカード内容の交換]

サンプルデータによる動作試験後、自社で製作したカードデータをコピーした CF カードに交換、またはサンプルデータを消去後、製作したカードデータをコピーした CF カードをセットして下さい。(電源 OFF 状態で)

■接続上のご注意

配線	スピーカー配線	5m 以上、または周囲にノイズ源がある場合はシールド線をご使用ください。 なお、屋外配線の場合、雷等で帯電し、破損する可能性が大きくなります。
	LINE OUT 配線	1.シールド線をご使用下さい。 2.数 m 以上延長する場合、ノイズが多い場所ではラインコンバータ(不平衡-平衡)を使用してアンプと接続して下さい。
	制御関係の配線	1m 以上、または周囲にノイズ源がある場合はシールド線をご使用ください
電源	AC 電源	1 商用 AC100V 電源をご使用下さい。 2.付属品 AC アダプタをご使用下さい。
	DC 電源	1. ノイズの少ない、安定した電源をご使用下さい 2. DC 電源には+-の極性がありますのご注意下さい。 3. 電圧変動が激しい電源や、ノイズ・サージを多く含む電源は使用しないで下さい。

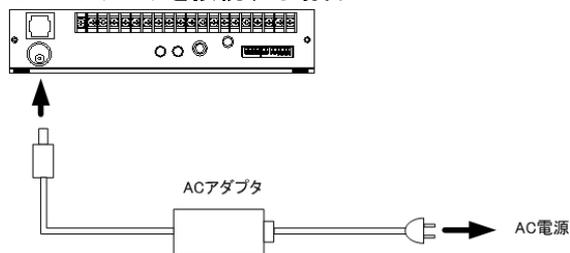
14. AC/DC 電源との接続

WRX-6F シリーズはAC100V(付属品 ACアダプタ使用)またはDC+24V(または 12V)電源で動作します。
ケーブル長さが不足する場合、市販のAC電源の延長ケーブルをご使用下さい。
(注) AC100VとDC+24(12)V 電源を同時に入力することはできません。

使用電源	電圧範囲	消費電流		備考
		待機時	動作時	
AC 電源	AC100V 50/60HZ	約 7W	約 23W	付属品 AC アダプタ使用
DC 電源	DC+24V±5%	約 130mA	約 450mA	リアパネル M3 端子台
	DC+12V±5%	約 200mA	約 760mA	リアパネル M3 端子台

■付属品 AC アダプタ スイッチングACアダプタ IN AC100V OUT DC+24V 1A または相当品

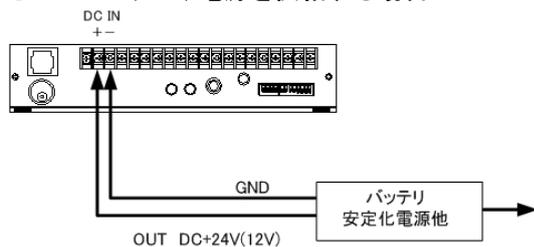
●AC アダプタを接続する場合



付属品の AC アダプタを商用電源(AC100V 50/60Hz)と接続します。

■付属品
スイッチングACアダプタ
IN AC100V OUT DC+24V 1A または相当品

●DC+24V(12V)電源を供給する場合



バッテリーなどノイズが少ない安定化電源に接続します。

使用電源	DC+24V 500mA
消費電流	待機時:約 75mA 最大時:約 450mA (スピーカー5W 出力時)

15. スピーカーや拡声アンプとの接続

WRX-6F5 の場合、スピーカー出力 1 系統とライン出力 4 系統を有しています。
ライン出力 4 系統は全出力 1 系統とコマンド制御による出力 3 系統で構成されています。

名称	ジャック・端子台	出力
スピーカー出力	リアパネル 端子台 SP+ SP-	5Wmax. 8Ω +24V/+12V 時
ライン出力 1 LINE OUT	リアパネル ピンジャック	600Ω 不平衡 約 0dBm (工場出荷時)
ライン出力 2 LINE OUT2	リアパネル ピンジャック	600Ω 不平衡 約 0dBm (工場出荷時)
ライン出力 3 LINE OUT3	リアパネル ピンジャック	600Ω 不平衡 約 0dBm (工場出荷時)
ライン出力 4 LINE OUT4	リアパネル ピンジャック	600Ω 不平衡 約 0dBm (工場出荷時)

【ライン出力先の設定】 (注) LINE OUT 1 は全出力

音声データの再生制御の際、フレーム(組立再生)単位でライン出力先 1~4 を設定できます。
詳細は制御—シリアル制御を参照の事。 なお LINE OUT 1 は全出力

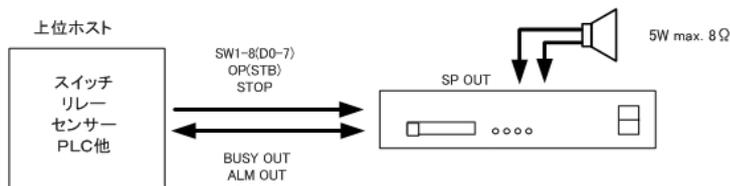
■出力レベルを調整したい場合

	調整箇所	調整範囲	工場出荷時
スピーカー出力	リアパネル シャフト式可変ボリューム	約 0~5W	VR 位置「中」
ライン出力 1	本体内ボード上半固定 VR2	約 -10~8dB	約 0dBm
ライン出力 2	本体内ボード上半固定 VR4	約 -10~8dB	約 0dBm
ライン出力 3	本体内ボード上半固定 VR5	約 -10~8dB	約 0dBm
ライン出力 4	本体内ボード上半固定 VR6	約 -10~8dB	約 0dBm

(注)ライン出力・本体的上カバーをはずし、ボード上の半固定ボリュームを調整して下さい。

■スピーカーとの接続 (原則として数m~30m 程度の場合) [ローインピーダンス接続]

5W 8Ω デジタルアンプを搭載しています

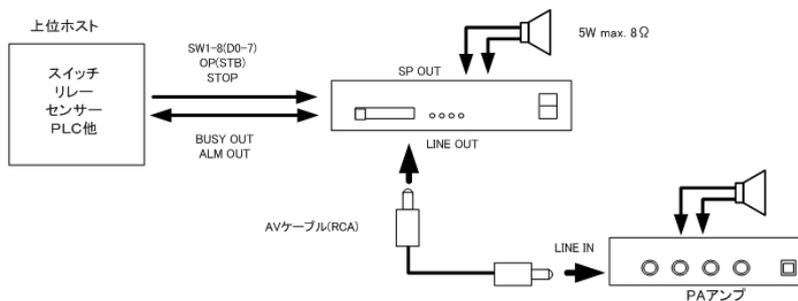


定格 5W 8Ω以上のスピーカーを接続
できます。

(注)
スピーカー線を長いとアンテナ状態でノイズ・無
線を拾う可能性が有ります。その場合、シール
ド線で配線します。

■拡声アンプ機器との接続 (原則として 3m 以内の場合) [ローインピーダンス接続]

WRX-6F シリーズのライン出力は不平衡タイプです。
市販の AV ケーブル(RCA)を使用して接続します。



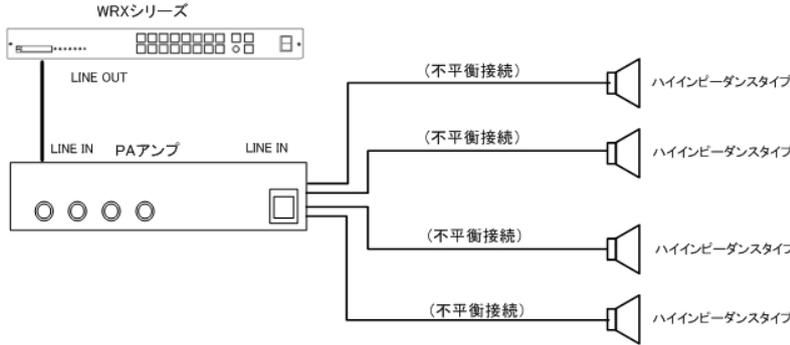
スピーカーの定格出力以上の拡声ア
ンプをお選び下さい。

[PA アンプメーカー]
パナソニック・TOA(トーア)
日本ビクター・ユニペックス・ノボル電
機他

■スピーカーを複数接続・スピーカーとの距離が遠い場合 [ハイインピーダンス接続]

PA アンプ(ハイインピーダンス出力)とスピーカーユニット(ハイインピーダンス出力)を平衡接続する必要があります。

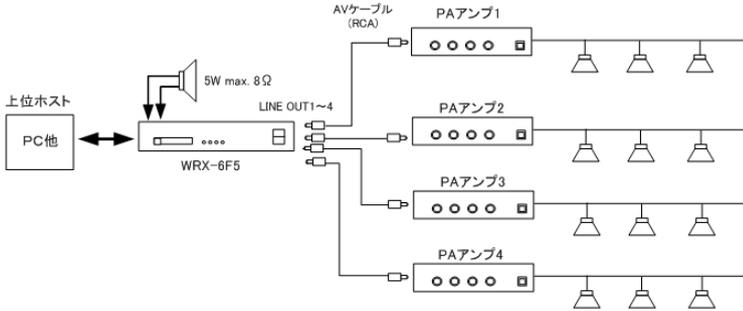
通常、PA アンプはスピーカーセレクト機能(個別/一斉放送)、総W数(接続するスピーカー个数・W数)で選択します。AV 機器販売・工事業者や PA メーカー(代理店)にご相談下さい。



[PA アンプメーカー]
パナソニック
TOA(トーア)
日本ビクター
ユニペックス
ノボル電機他

■拡声アンプ無線・無線インカム 複数接続の場合

WRX-6F5 は 4 系統のライン出力 LINE OUT 1~4 を有しています。LINE OUT1 は全出力。LINE OUT2~4 はシリアル制御で出力先を設定できます。

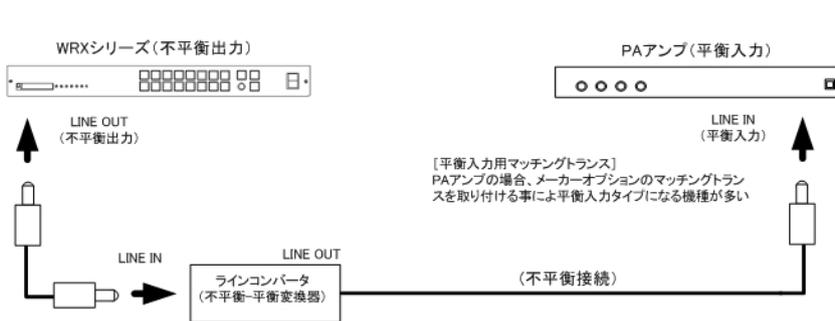


[PA アンプ・無線インカムメーカー]
パナソニック
TOA(トーア)
日本ビクター
ユニペックス他
無線インカムメーカー

■拡声アンプとの距離が遠い場合 (原則として 3m 以上の場合) [ハイインピーダンス接続]

PA アンプと並行接続する必要があります。WRX シリーズのライン出力は不平衡タイプです。市販のラインコンバータ(不平衡-平衡変換器)で平衡出力してから接続します。

PA アンプのライン入力部の確認も含め、AV 機器販売・工事業者や PA メーカー(代理店)にご相談下さい。

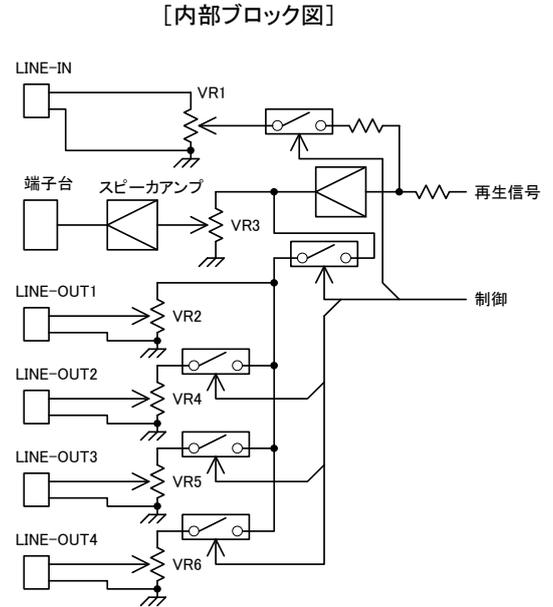
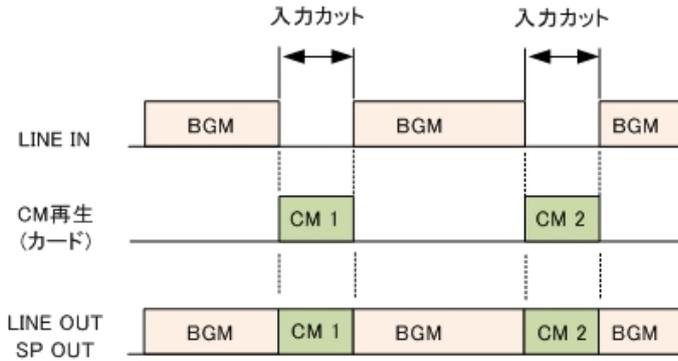


[ラインコンバータ]
TLB-033 (TOMOCO 製)

16. 有線放送・BGM 機器との接続 (ラインスルー・カット機能)

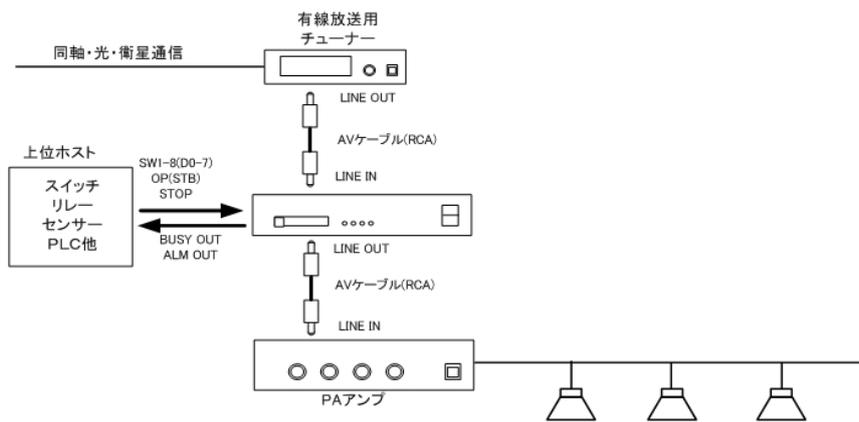
通常時(本機スタンバイ状態)は、ライン入力そのままスルーにて LINE OUT1~4 より出力します。
 本機再生時はライン入力をカットし、メモリカード内の音声・音響データを再生出力します。

名称	ジャック・端子台	入力
LINE IN	リアパネル ピンジャック	1K Ω 0dBm(max) RCA ジャック



■有線放送・BGM 機器との接続

WRX-6F5 のライン入力・出力は不平衡タイプです。
 市販のオーディオケーブル(RCA)を使用して接続します。

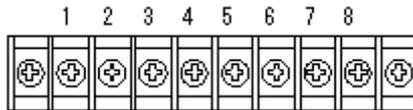


17. 制御・監視用接点端子の接続

接続参考図を、参考にして接続します。

<FA仕様>本製品は入出力部にフォトカプラを採用したFA仕様です。(シリアル制御回路除く)
各種 PLC・PC・CPU ボードなどで制御できます。

【端子台】 サトーパーツ:ML-40S2AXF8P M3×8P

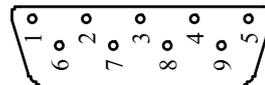


No.	表示	I/O	レベル(H/L)	内容
1	DC IN +	I		DC+12/24V 電源入力
2	DC IN GND	I		DC+12/24V 電源入力 GND
3	COM			制御信号用 GND
4	ALM	O	L	ALM(アラーム)信号出力
5	BUSY	O	L	BUSY(ビジー)信号出力
6	OP	I	L	予備入力
7	STOP	I	L	STOP 信号入力
8	COM			制御信号用 GND

【RS232C 用コネクタ】 (D-SUB9ピン ヒロセ:HDEB-9P)

PC と接続する場合、クロスケーブルをご使用下さい

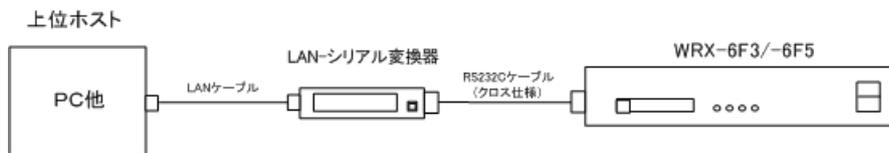
No.	信号名	機能
1	NC	(未接続)
2	RXD	受信データ
3	TXD	送信データ
4	NC	(未接続)
5	GND	信号用 GND
6	NC	(未接続)
7	NC	(未接続)
8	NC	(未接続)
9	NC	(未接続)



RS-232C用コネクタ

【LAN-シリアル変換器を使用する場合】

LAN 接続で使用する場合、市販の LAN-シリアル(RS232C)変換器をご使用下さい。(ラインアイ製他)



18. 制御—BUSY 出力（再生中出力）

再生中、出力します。

■出力信号

信号名	ホスト側	内容	備考
/BUSY	IN	オープンコレクタ DC+50V 500mA	再生中、出力します。

●BUSY 出力（再生中出力）



WRX-6F シリーズでは再生中 BUSY 出力します。

	再生中
BUSY 出力	●
PLAY LED	●

19. 制御—ALM 出力・ALM LED（CPU 異常と自己復旧機能について）

■出力信号

信号名	ホスト側	内容	備考
/ALM	IN	オープンコレクタ DC+50V 500mA	ノイズ等による CPU 暴走時、出力します。 電源 OFF まで ALM 出力(ALM LED も)を保持します。

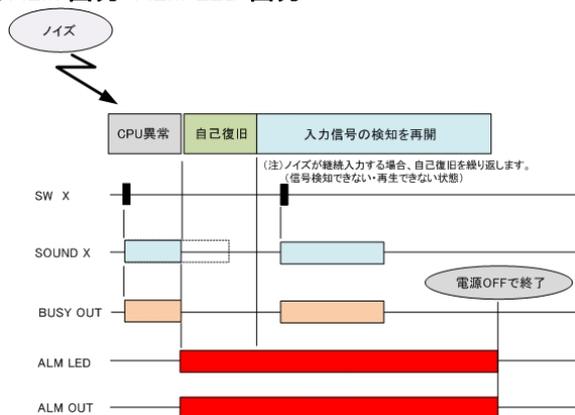
(注).ハード故障の場合、本機能は作動しませんのでご注意ください。

【自己復旧機能（ウォッチドッグタイマリセット）】

万一、外来ノイズ等により CPU が暴走した場合に、ウォッチドッグタイマにより本機 CPU を強制リセット、入力信号待機状態になります。

自己復旧機能が作動したことを知らせるため、ALM(アラーム)出力・ALM LED 点灯を保持します。電源 OFF で、保持を解除します。

●ALM 出力・ALM LED 出力



ノイズが連続入力していると自己復旧を繰り返します。→再生できない状態になります。

【自己復旧機能が作動した場合の対策】

周囲にモーターなどノイズ発生源がありますのでノイズ対策を行って下さい。

- ・電源ライン(特にチェックする)
- ・制御ライン
- ・SP ライン(配線が長い場合、シールド線にする)
- ・LINE ライン
- ・VR ライン(シールド線)

20. 制御 — 入出力信号・タイミングチャート

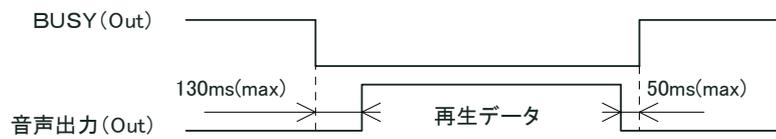
ご注意	【電源 ON 時の起動時間】
	本製品は電源 ON 時、CF カードの認識等のため約 4 秒間の起動時間を必要とします。 4 秒後から再生制御を行って下さい。

■入出力信号（STOP/BUSY/ALM）

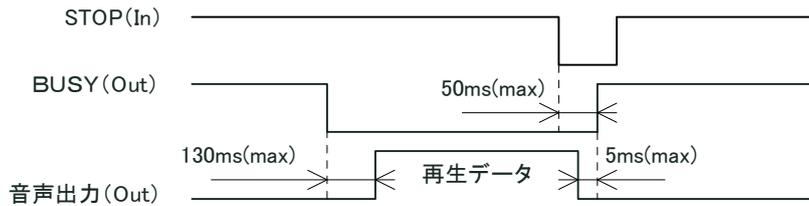
信号名	ホスト側	内容	パルス幅
/BUSY	IN	オープンコレクタ DC+50V 500mA	
/ALM	IN	オープンコレクタ DC+50V 500mA	
/STOP	OUT	無電圧メーク接点または NPN オープンコレクタ	50mS 以上

■タイミングチャート

【再生時】



【強制停止時】



21. 制御—シリアル制御（1000CH・ライン出力先の設定）

シリアル制御の場合、フレーム（組立）再生機能を使用することにより、1 フレーム最大 10 データまでを組立再生でき、また、再生中受信メモリバッファ機能により、最大 20CH まで再生中でも受信できます。
 WRX-6F5 では、フレーム単位でライン出力先(LINE OUT1~4)の設定ができます。
 尚、RS-232C 制御モード 1 と RS-232C 制御モード 2 の違いは、音声終了後にホスト側へ「ACK」を送信するかしないかの違いとなります。

フレーム再生(組立再生)	1フレーム 10 データ max. サポートソフト上でアドレス登録した音声データ(WAVE ファイル)を最大 10 データまで組立再生できます。
再生中受信メモリバッファ	20 フレーム max. 再生中でも最大 20 フレーム分、メモリ受信できます。 再生順番は FIFO 形式とし古いデータより再生 受信バッファがフル(満杯)で以降のデータは無効となり、バッファに5個の空きが生じると受信可能とします。 外部 STOP 信号入力もしくは FFh 入力にて再生を即停止し、受信メモリバッファを全てクリアにします。
ライン出力先 1-4 の設定	フレームデータにライン出力設定データを付加することにより、ライン出力1-4を設定できます。

●通信条件

通信方式	非同期式 全2重
通信速度	19200bps
データ長	8ビット
パリティ	Non
ストップ	1ビット
コード体系	ASKII

●通信制御コマンド

コマンド	コード	定義
STX	02h	フレームデータの開始
ETX	03h	フレームデータの終了
ACK	06h	送信側に対する肯定的応答
NAK	15h	送信側に対する否定的応答
ENQ	05h	受信側に対する応答要求

●その他の制御コマンド

コマンド	コード	定義
	FFh	強制停止
#	23h	ラインアウト切り替え制御

強制停止については外部STOP信号入力にて可

●データ送信フォーマット



① ラインアウトの切り替え制御は「#」+ラインアウト番号(3コード)で表します

ラインアウト番号(3コード)とラインアウトの出力先の関係

ラインアウト番号	LINE OUT 1	LINE OUT 2	LINE OUT 3	LINE OUT 4
30h30h31h	●			
30h30h32h	●	●		
30h30h33h	●		●	
30h30h34h	●	●	●	
30h30h35h	●			●
30h30h36h	●	●		●
30h30h37h	●		●	●
30h30h38h	●	●	●	●

[●-出力] (注) LINE OUT 1 は全出力

例)ラインアウト 1, 2 を選択する場合 #+ラインアウト番号→23h30h30h32h

注1. ラインアウト切り替え制御のコマンドが「#」(23h)以外の場合は、ラインアウト出力先は1になります

注2. ラインアウト番号が上記以外の場合は、ラインアウト出力先は1になります

② フレームデータ内の CH は 1CHにつき 4 コードで表します

例) 1CH と 125CH の表示

1(10進表示) → 0001(10進表示) → 30h30h30h31h(コード表示)

125(10進表示) → 0125(10進表示) → 30h31h32h35h(コード表示)

③ BCC の範囲は#から ETX までとします

例)ラインアウト 1, 2 を選択し、1CH と 15CH と 125CH を再生する場合

STX	#	ラインアウト番号	フレームデータ(最大10CH分)	ETX	BCC
02h	23h	30h30h32h	30h30h30h31h30h30h31h35h30h31h32h35h	03h	

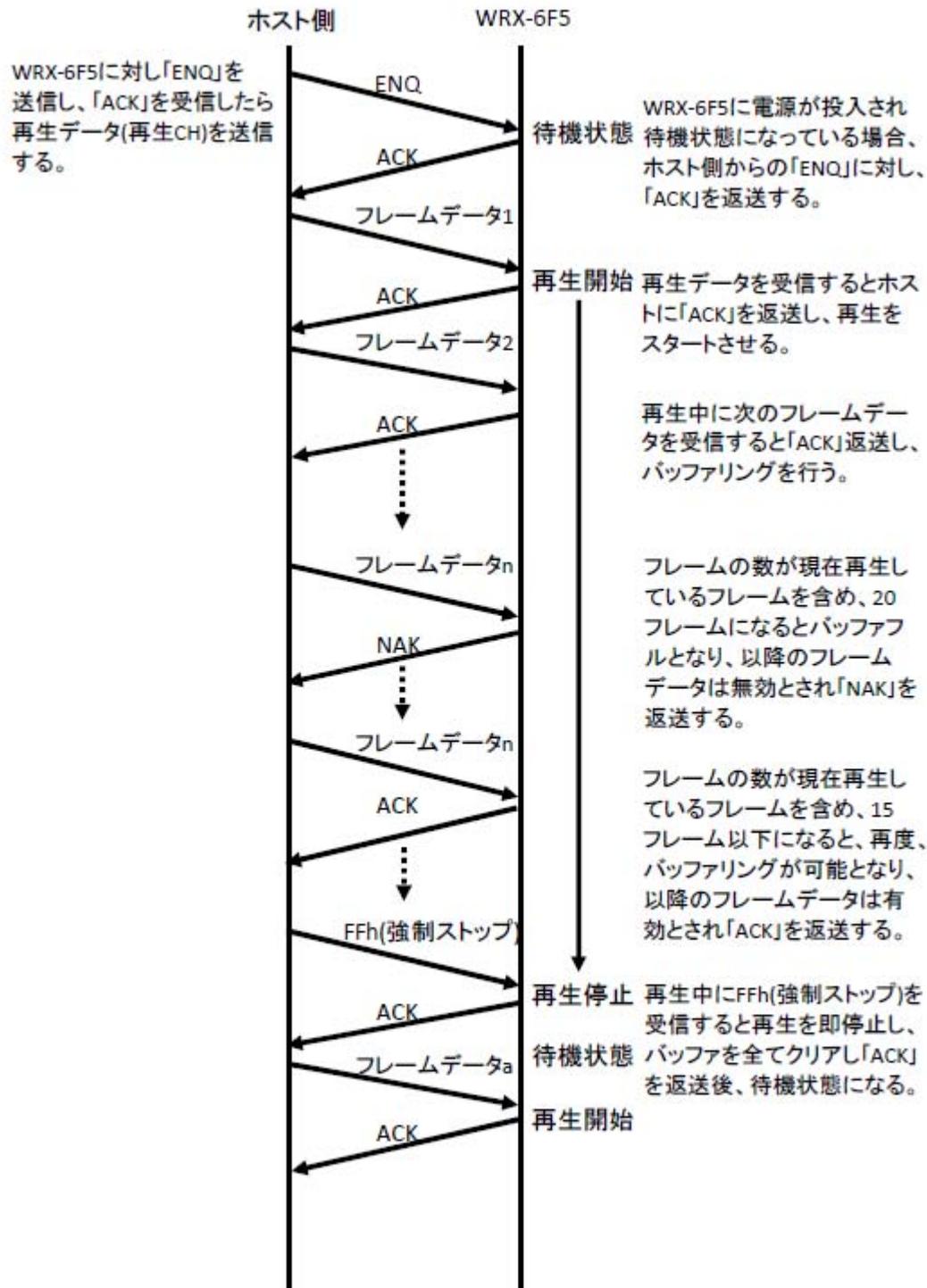
← BCCの範囲 →

	コード	バイナリ
#	23h	00100011
ラインアウト 1, 2	30h	00110000
	30h	00110000
	32h	00110010
	30h	00110000
1CH	30h	00110000
	30h	00110000
	30h	00110000
	31h	00110001
15CH	30h	00110000
	30h	00110000
	31h	00110001
	35h	00110101
125CH	30h	00110000
	31h	00110001
	32h	00110010
	35h	00110101
ETX	03h	00000011
BCC	11h	00010001

BCCの算出は、バイナリに於いて各ビットのEXORをとる

●送信手順

RS-232C 制御モード 1:再生終了後、「ACK」送信なし



※1: ホスト側の「ENQ」送信に対し、WRX-6F5が待機状態(受信可能状態)であると「ACK」を返送します。

※2: 「NAK」が返送されるのは、バッファフルの時と受信データにエラーが発生した時です。

22. サポートソフトカードデータを作成する場合（1000CHモード使用）

詳細はサポートソフト VoiceNavi Editor の取扱説明書をご参照下さい。
 またホームページ | サポート | にも音声データの製作・カードデータ製作について記載しています。

■サポートソフト VoiceNavi Editor の入手先（注）市販カードアダプタもご用意下さい

付属品 CF カード内	CFカード内の圧縮ファイルを PC にコピーし、解凍・インストールします。
ホームページ	圧縮ファイルを PC にダウンロードし、解凍・インストールします。
VoiceNavi Announcer 2J	CD 内の圧縮ファイルを PC にコピーし、解凍・インストールします。

■音声・音響データの録音・登録 と WRX/WAV シリーズ用カードデータ作成（1000CH モード）

WRX-6F5/6500 シリーズはサポートソフト VoiceNavi Editor 1000CH モードを使用してカードデータを作成します。
 基本操作は 255CH モードと同一です。
 また作成したカードデータの CF カードへのコピーもフォルダ毎、コピーします。

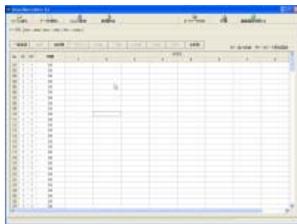
●機種・モード設定

| 詳細設定 | 機種・モード設定 | WRX シリーズ 1000CH 用に設定します。



●アドレス登録(プログラム登録)

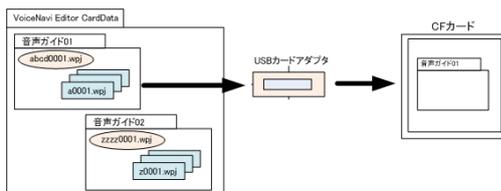
タブシート 1 シート 250CH 分登録できます。



タブ No.	No.	クライアント側.
タブ 1	1	1
	:	:
	255	255
タブ 2	256	256
	:	:
	500	500
タブ 3	501	501
	:	:
	755	755
タブ 4	756	756
	:	:
	1000	1000

●作成したカードデータの CF カードへのコピー

カードデータフォルダ毎、メモ리카ードにコピーします。

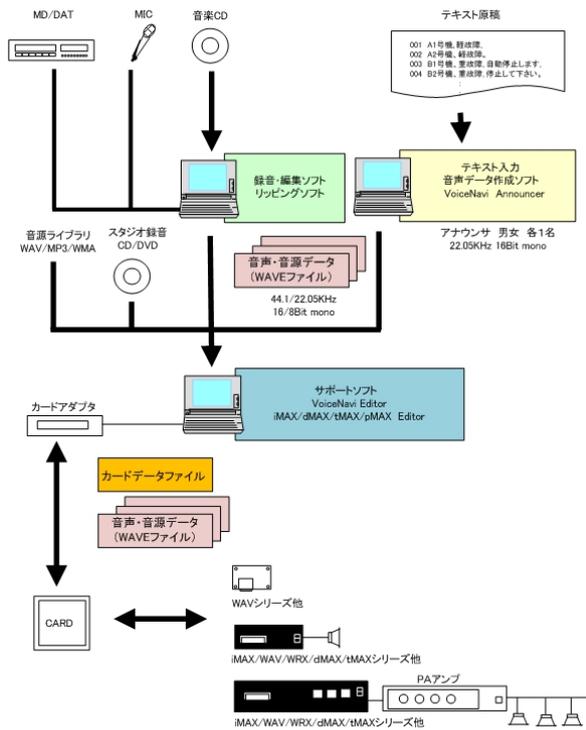


(注)
 複数のフォルダをコピーすると正常に動作しません。(認識できない)

サポートソフト VoiceNavi Editor を使用してカードデータ作成を行って下さい。
 カードデータの作成・カードへのコピー方法はサポートソフト VoiceNavi Editor のユーザーマニュアルをお読み下さい。

WRX/WAV シリーズはクライアント自身で音声・音源データの登録・変更ができます。

サポートソフト VoiceNavi Editor(ボイスナビエディタ)上で音声・音源データ(WAVE ファイル)登録、接点端子・アドレスに登録します。その際、最大 8 データまでの組立再生・5 回までのリピート回数などのプログラム登録もできます。



■音源・音声データ(WAVE ファイル)の用意

- 1.スタジオ録音
- 2.PC 録音
PC 上でフリー・市販録音編集ソフトを使用して録音、前後の無音部をカットしてファイル保存
- 3.オーディオ CD の場合
フリー・市販のリッピングソフトで WAVE ファイル化
- 4.テキスト入力の場合
テキスト入力音声データソフトで WAVE ファイル作成。

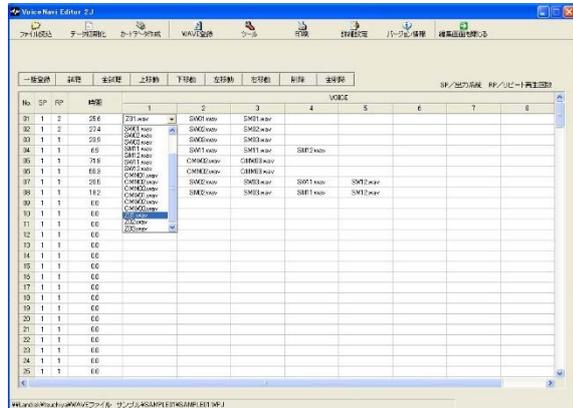
■サポートソフトでカードデータ作成 (1000CH モード)

- 1.音声・音源データ(WAVE ファイル)登録
2. 接点端子・アドレスに登録
3. プログラム登録(組立再生・リピート回数)
- 3.カードデータ作成

■CF カードへコピー (1000CH の場合、フォルダ毎コピー)

作成したカードデータを USB カードアダプタ経由でコピーします。

■サポートソフト VoiceNavi Editor



WRX/WAV シリーズはクライアント自身で音声・音源データの登録・変更ができます。

サポートソフト VoiceNavi Editor(ボイスナビエディタ)上で音声・音源データ(WAVE ファイル)登録、接点端子・アドレスに登録します。その際、最大 8 データまでの組立再生・5 回までのリピート回数などのプログラム登録もできます。

■ サポートソフト VoiceNavi Editor で音声・音響データ(WAVE ファイル)を登録する手順

| 詳細設定 | 機種・モード | 画面で WRX シリーズ 1000CH 用を設定。

WAVEファイル登録画面でWAVEファイル登録

設定画面(フォルダ)で WAVE ファイル収納先のフォルダを設定。
WAVE ファイル登録画面で使用する WAVE ファイルを登録します。(試聴できます)

アドレス・プログラム登録画面で、WAVEファイル登録

アドレス・プログラム登録画面で、WAVE ファイルをアドレス(押し端子・接点端子)に登録します。(試聴できます)

アドレス・プログラム登録画面で、プログラム登録

アドレス・プログラム登録画面で、プログラム登録できます。(試聴できます)

【プログラム再生登録】

組立再生登録	8wav ファイル max.
リピート回数登録	5 回 max. 上記組立再生登録全体×リピート回数

カード作成画面でカード作成

カード作成画面で、所定事項を入力し、カードデータ作成端子でカードデータを作成します。

作成したカードデータはCFカードにコピー

1000CH モードの場合、カードデータフォルダ毎、メモ리카ードにコピーします。

● 新規作成と追加・変更・削除

PC 録音、スタジオ録音した音声・音源データ(WAVE ファイル)を登録、接点端子(アドレス)登録、カードデータ作成できます。

エディット画面(アドレス・プログラム再生登録画面)

WAVE ファイル登録画面で登録した WAVE ファイルは何回でも登録できます。

(プログラム登録) 1 アドレス 8 データ max. リピート回数 5 回 max.

[タブ No.1 1-255 の場合]

No.	SP	R	1	2	3	4	5	6	7	8
01	1	2	a001.wav	b002.wav	c003.wav					
02	1	1	b002.wav							
03	1	1	c003.wav							
04	1	1	abc01.wav							
05	1	1	WRX005.wav(または無ファイル)							
06	1	1	WRX007.wav(または無ファイル)							
07	1	1	a001.wav							
08	1	1	b002.wav							
:	:	:								
254	1	1								
255	1	1								

23. サポートソフト - No.-アドレス対応表

タブシート 1 シート 250CH 分登録できます。

■ VoiceNavi Editor No.-アドレス対応表

VoiceNavi Editor タブ No.	VoiceNavi Editor No.	クライアント側. シリアル制御
タブ 1	1	1
	2	2
	:	:
	255	255
タブ 2	256	256
	257	257
	:	:
	500	500
タブ 3	501	501
	502	502
	:	:
	755	755
タブ 4	756	756
	757	757
	:	:
	1000	1000

24. サポートソフト-カードデータを変更したい場合



CF カードのデータをカードアダプタ経由でパソコン内のフォルダにコピーします。

| 詳細設定 | 機種・モード | 画面で WRX シリーズ 1000CH 用を設定。

WAVE ファイル登録画面でそのフォルダ内のカードデータファイル ***.wpj を指定し、開きます。

【WAVE ファイルを追加したい場合】

WAVE ファイル登録画面で使用する WAVE ファイルを登録します。(試聴できます)

アドレス・プログラム登録画面で、WAVE ファイルをアドレス(押し端子・接点端子)に登録します。(試聴できます)

【プログラム再生登録】

組立再生登録	8wav ファイル max.
リピート回数登録	5 回 max.
上記組立再生登録全体×リピート回数	

(注)プログラム登録した場合、WRX シリーズ上で再録音できません。

カード作成画面で、所定事項を入力し、カードデータ作成端子でカードデータを作成します。

CF カードに上書きコピーする場合、カードデータファイル名は、default.wpj のまま、カードデータ作成します。

新規のカードデータファイル名でカード作成した場合、CF カードをフォーマットしてからコピーして下さい。(または上書きコピー後、default.wpj を削除して下さい)

1000CH モードの場合、カードデータフォルダ毎、メモリカードにコピーします。

25. 定期点検・調整

本ユニットは半導体部品を搭載した精密な電子製品です。
毎月または年に数回、点検または調整を行って下さい。

[お願い]

バイナリ制御・シリアル制御の場合、点検用にテストプログラムも設計することをお勧めします。
なお、シリアル制御の場合、無償配布の実機再生テスト用ソフト VoiceNavi Tester で代用することもできます。

●外観チェック

	点検箇所	点検内容
1	POWER LED	点灯しているか
2	CD LED	点灯しているか (CF カードセット状態)
3	PLAY LED	再生時、点灯するか
4	ALM LED	消灯しているか

(注) ALM LED の点検はできません。(参照)自己復旧

●動作チェックーテスト放送モード(個別/全)時

	点検箇所	点検内容
1	スピーカー出力	再生時、出力するか
2	ライン出力 1(~4)	再生時、出力するか
3	音量ボリューム	スピーカー出力が可変するか

●動作チェックー入出力端子(使用している場合)

	点検箇所	点検内容
1	RS232C 用コネクタ	指定したアドレスを再生するか
2	STOP 端子	再生を強制終了するか
3	BUSY 出力端子	再生中出力するか

●商品寿命に関して

(ご注意) 下記年数は無故障などを保証したものではありません。
使用環境(特に温度変化)により、寿命が短くなる場合があります。

商品寿命	約 10 年間程度 (温度 15°C~25°C程度で使用した場合)
------	-----------------------------------

■標準仕様

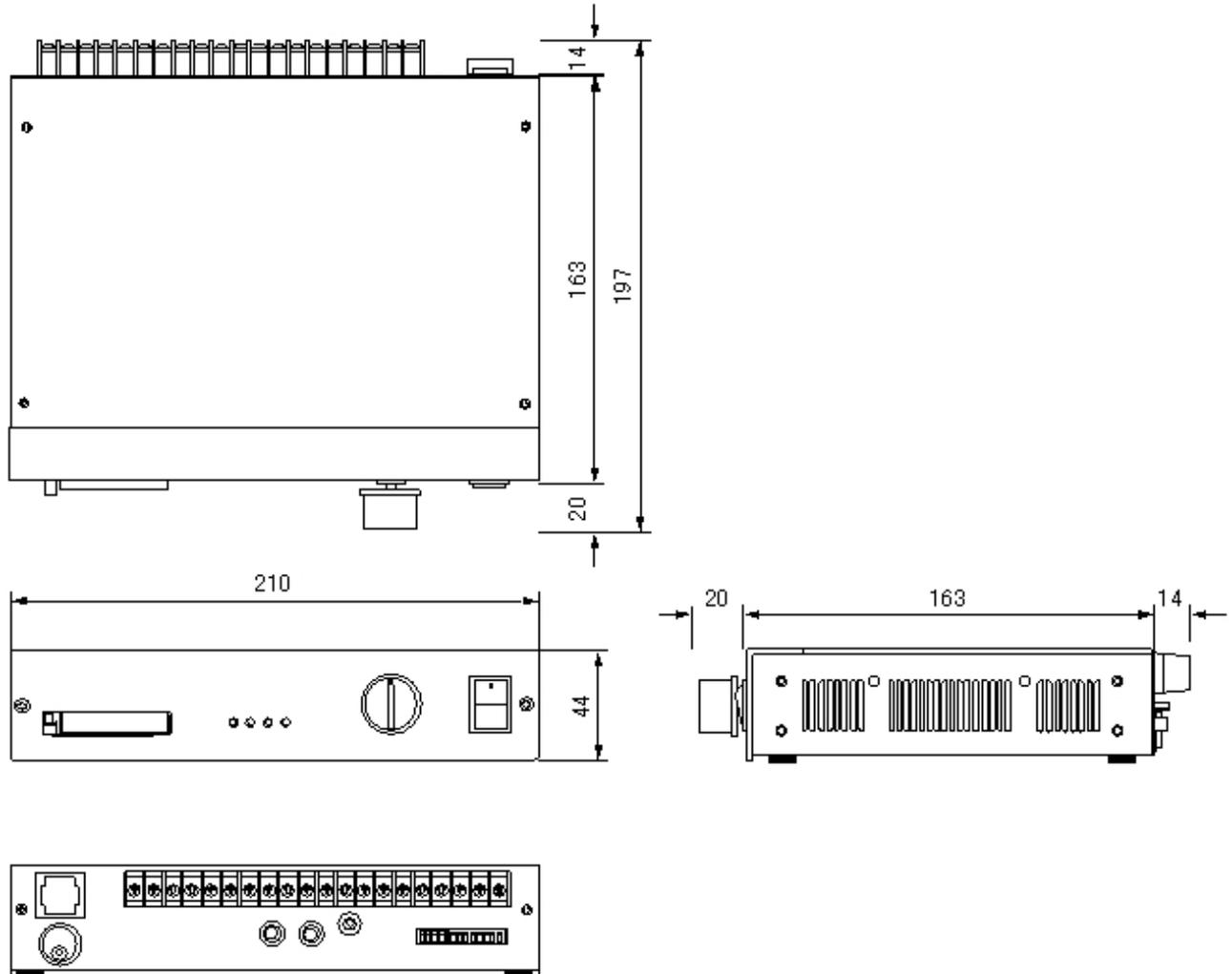
FA仕様

RoHS

定格使用電圧	AC100V 50/60HZ (注) 付属品 ACアダプタ使用 DC+24V±5% または DC+12V±5% リアパネル M3 端子台												
消費電力・電流	ACアダプタ使用時 待機時 約3W 最大時 約12W (注) 付属品 ACアダプタ使用時 [DC電源の場合] DC+24V時 待機時 約170mA 最大時 約500mA DC+12V時 待機時 約220mA 最大時 約780mA												
寸法・重量	210W X 180D X 44H mm 約1.5 Kg EIAラック収納対応												
仕上・塗装	スチール ブラック 焼付塗装												
使用環境	使用時:-5°C~55°C 35%~80%RH 保存時:-10°C~70°C(但し結露なき事)												
再生方式	PCM方式 [適用ファイル形式] WAVEファイル 44.1/22.05KHz 16/8Bit Mono												
再生帯域	300~10KHz												
音声出力	LINE 出力 1	600Ω/0dBm 不平衡 (-3dBm~8dBm 内部VR調整可) RCAジャック <有線放送・BGMスルー・カット機能> (注)LINE出力1は全出力します。											
	LINE 出力 2	600Ω/0dBm 不平衡 (-3dBm~8dBm 内部VR調整可) RCAジャック (注)フレーム(組立再生)単位でライン出力先1~4を設定できます。											
	LINE 出力 3	600Ω/0dBm 不平衡 (-3dBm~8dBm 内部VR調整可) RCAジャック (注)フレーム(組立再生)単位でライン出力先1~4を設定できます。											
	LINE 出力 4	600Ω/0dBm 不平衡 (-3dBm~8dBm 内部VR調整可) RCAジャック (注)フレーム(組立再生)単位でライン出力先1~4を設定できます。											
	SP 出力	AC100V時 5Wmax.8Ω M3端子台 リアパネル DC+24/12V時 5Wmax.8Ω M3端子台 リアパネル											
有線放送・BGM 入力	LINE 入力	1KΩ 0dBm RCAジャック <有線放送・BGMスルー・カット機能> 通常時:スルー(通過) カードデータ再生時:カット(LINE IN レベル 0) CFカード再生時、有線放送・BGM放送をカットします。											
音量調整	LINE 出力	本体内部ボード上半固定ボリューム(VR2/4~6) -3dBm~8dBm											
	SP 出力	可変ボリューム(VR3)											
適用カード	[付属品] CFカード(工業用) 1GB 1枚 (172分 max. 44.1KHz16Bit Mono時) CFカード 1GB 1枚 max.												
再生制御	■シリアル制御 1000CHmax. 4×ライン出力(同時・個別出力) ・フレーム(組立)再生 10CHmax. <再生中>受信バッファ 20max. ・ライン出力先設定 4系統 LINE OUT1~4(フレーム単位で出力先を設定) 通信方式:非同期式 全2重 通信速度:9600bps データ長:8ビット パリティ:non ストップ:1ビット コード体系:ASCII コネクタ仕様:D-SUB9ピン IN:/STOP 無電圧メーク接点またはNPNオープンコレクタ OUT:/BUSY /ALM オープンコレクタ出力(DC+50V 500mA)												
外部出力	■BUSY出力(再生中出力) /BUSY端子出力・PLAY LED点灯 ■ALM出力(CPU異常時出力) /ALM端子出力・ALM LED点灯(電源OFFまで保持)												
登録時間	CFカード容量とサンプリングによる <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">カード容量</th> <th colspan="2">サンプリングモード</th> </tr> <tr> <th>44.1KHz 16Bit mono</th> <th>22.05KHz 16Bit mono</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>512MB</td> <td>89分</td> <td>179分</td> </tr> <tr> <td>1GB</td> <td>179分</td> <td>358分</td> </tr> </tbody> </table> (注)異なるサンプリングモードでも登録・再生できます。		カード容量	サンプリングモード		44.1KHz 16Bit mono	22.05KHz 16Bit mono	512MB	89分	179分	1GB	179分	358分
カード容量	サンプリングモード												
	44.1KHz 16Bit mono	22.05KHz 16Bit mono											
512MB	89分	179分											
1GB	179分	358分											
再生時間	登録したWAVEファイル時間またはプログラム登録した場合はその内容による												
付属品	ACアダプタ 1.5mコード 1個 PSE/RoHS (IN 100V 50/60Hz OUT DC+24V 1A) CFカード(工業用) 256MB 1枚 [収録データ] サンプルデータ サポートソフト VoiceNavi Editor 音源ライブラリ ブザー・チャイム音など効果音・擬音他												

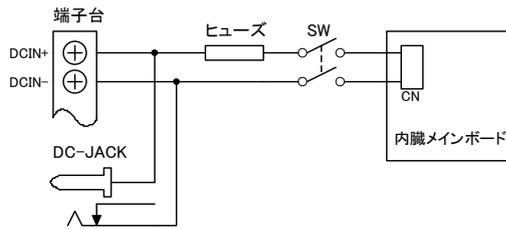
オプション	CFカード(工業用) 1GB RoHS WRX-EIA1U-B210S 補助金具 EIA ラック収納用(1台) RoHS WAV-E/2S 補助金具 EIA ラック収納用(2台) RoHS WRX-LKANAGU-B01 補助金具 L金具 RoHS 対応 RS232C ケーブル 1.5m(クロス)
適用サポートソフト	サポートソフト VoiceNavi Editor 3J [付属品 CFカード内収録/無償配布] [プログラム機能] 1アドレス(端子) 組立再生 8データ max. リピート回数 5回 max.
その他	●自己復旧機能(ウォッチドックタイマリセット) ALM 出力・保持

■外形寸法図

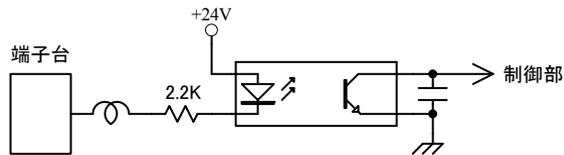


■内部回路・等価回路

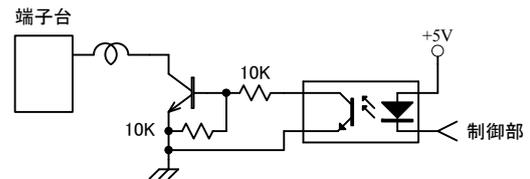
● DCジャックとDC電源入力



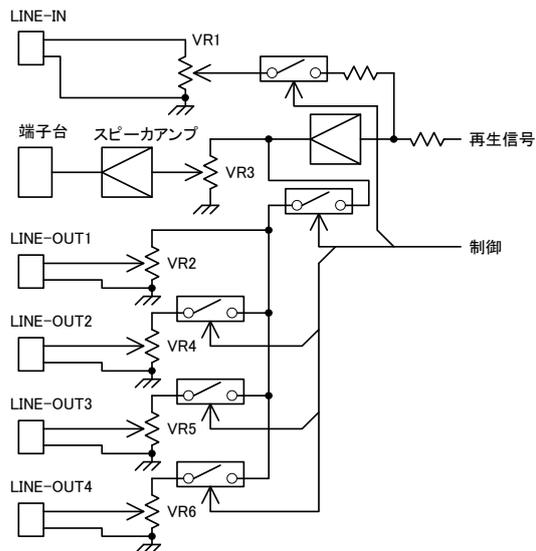
● 入力信号ライン SW1-8(D0-7) OP STOP



● 出力信号ライン BUSY ALM

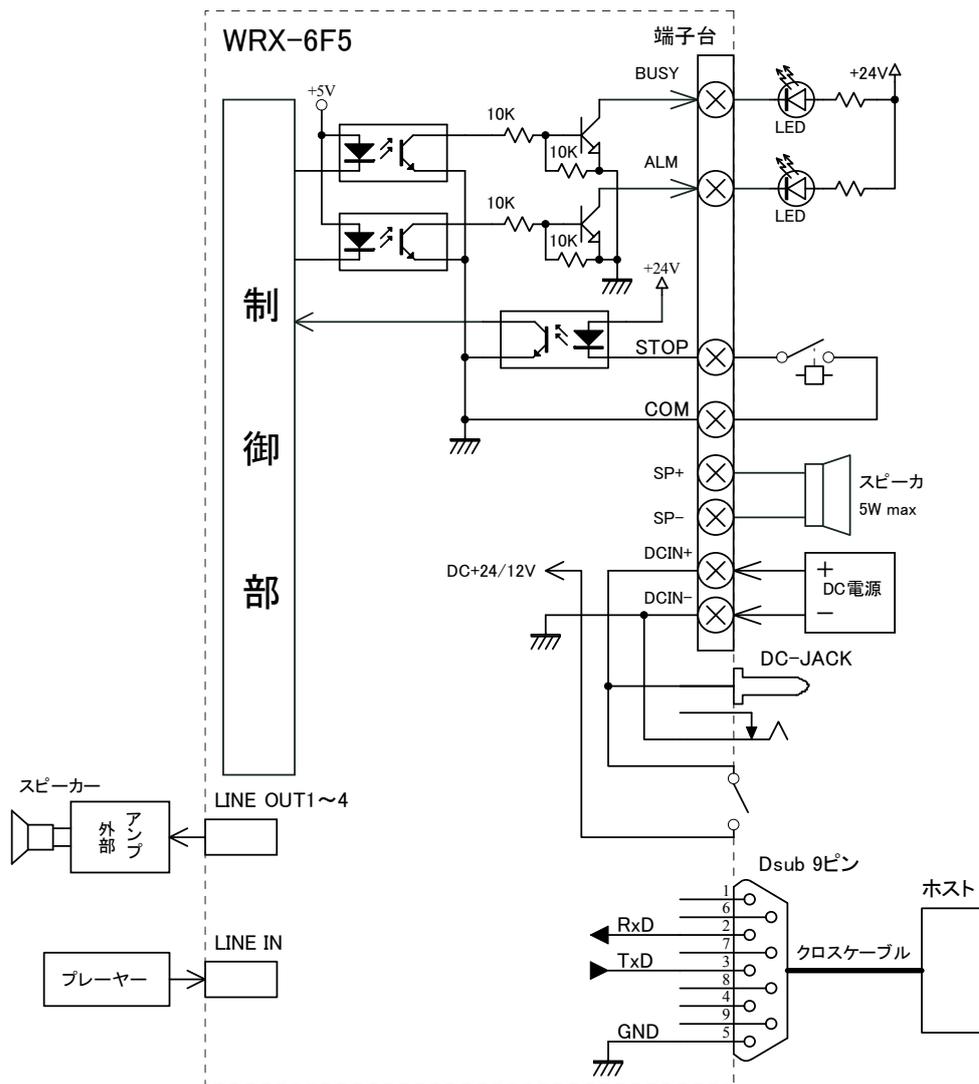


● 音声信号の入出力

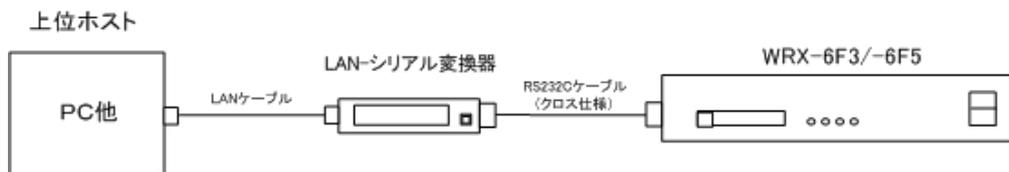


<有線放送・BGM スルー・カット機能> SP/LINE OUT1~4
 通常時:スルー(通過) カードデータ再生時:カット(LINE IN レベル 0)
 CF カード再生時、ライン入力の有線放送・BGM 放送をカットします。

■接続参考図



【LAN-シリアル変換器を使用する場合】



＜FA仕様＞本製品は入出力部にフォトカプラを採用したFA仕様です。(シリアル制御回路除く) 各種 PLC・PC・CPU ボードなどで制御できます。

[注意事項]

- 1.AC100V は付属品の AC アダプタをご使用下さい。AC電源と DC 電源の同時接続はできません。
- 2.ライン出力・入力とは市販の AV ケーブル(RCA)または相当品をご使用下さい。
- 3.SP 出力はローインピーダンス 8Ω。数m～約 30m程度 (長い場合はシールド線を使用して下さい)

■エラー対策シート（トラブルシューティング）

エラー対策には、パソコン、CF カード用カードアダプタとサポートソフト VoiceNavi Editor が必要です。
また予備の空きの CF カードがあればなお良い。

●再生しない場合 PLAY LED によるチェック方法

困った状態	LED 表示	原因・対処方法
まったく再生しない	PLAY LED 点滅	・カードフォーマットが FAT16 ではない。→フォーマット
	PLAY LED 点滅	・WRX シリーズに不適合な WAVE ファイラー
再生しない接点 ・アドレスがある		・WAVE ファイルがカード内にない →CF カード内をチェック
		・カードデータファイル(***.wpj)がない→CF カード内をチェック

●再生しない場合 簡単なチェック方法（WRX 本体・CF カードのハード良品チェック）

本テストで WRX 本体、CF カードを点検します。

付属品（または新規購入）CF カードのサンプルカードデータ でチェック	再生	本機のハードと CF カードは正常
	再生しない	配線不良、接続機器のミスマッチ、音量ボリューム 0 (注) PLAY LED をチェック

(注) 新規購入カードは付属品 CF カードからバックアップしてあるサンプルカードデータをコピー。
無い場合は、WEB 上からサンプルカードデータをダウンロードの事。

●不適合な WAVE ファイルについて

下記 WAVE ファイルはサポートソフト上では「再生します」(実際は Windows OS で再生)が、WRX/WAV シリーズなど当社製品上では認識できないため、再生できません。

不適合な WAVE ファイル	<p>1.アルファベット英数字でないファイル名 PC のフォントによっては判別できない</p> <p>2.ファイル名が 8 文字以上</p> <p>3.禁止文字・記号 (注) --半角スペース要注意 - / () [] 半角スペース他 × abc 123.wav</p> <p>4.WAVE ファイルであるが WAV シリーズで再生できないファイル スタジオ録音・MAC で録音したことが多い。 1.高額な録音ソフトで付加情報を「無」で再保存する。 2.フリーソフト SoundEngine Free」で読み込み、設定タグ情報の保持のチェックを外し、保存する。</p> <p>5.拡張子が .wav ですが実際は形式が違うファイル 出所不明なデータを使用した場合、多い。通常の録音編集ソフトで読み込めない。</p>
----------------	---

●共通

困った状態	LED 表示	原因・対処方法
まったく再生しない 再生しない接点・ア ドレスがある	PLAY LED 点灯	・音量ボリューム「小」 SP などの接続ミス
	PLAY LED 点灯	・スピーカーの接続ミス
	PLAY LED 点滅	・WAVE ファイルがカード内にない CF カード内をチェック
音量が小さい	PLAY LED 点灯	・ライン出力にスピーカーを接続している。
再生するが、 時々、リセット状態 になる	ALM LED 点灯	・強力なノイズ等で GPU 暴走→参照 自己復旧機能 なお、常時ノイズが入りますと、リセットを繰り返す

[LED の点滅・点灯と消灯]

1. PLAY LED 点滅 STOP 入力にて消灯します。
2. ALM LED を消灯する場合、電源 OFF します。
3. PLAY の LED が点滅した状態で、再生起動を行なうと ALARM LED が点灯する場合があります。

(注) Windows2000/XP/Vista は Microsoft 社の商品名・商標登録です。

その他の商品・社名は各社の商標または登録商標です。本書記載の仕様・概観は改良等により、予告なく変更になることがあります。

VoiceNavi 三共電子株式会社

〒389-1102 長野県長野市豊野町大倉 3500-17 TEL 026-257-6210 FAX 026-217-2893

URL: <http://www.voicenavi.co.jp/>

E-mail: info@voicenavi.co.jp